



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより 令和4年4月28日号 文責:校長(松井伸平)

◇令和4年度がスタートしました◇

ここ山辺の里にもうらかな春の光が満ちあふれ、春爛漫の季節となりました。今日から令和4年度が始まります。本校では、1年間を希望節、いのち節、絆節、学び節、決意節の5つに分けて節ごと具体的な目標を立てて生活しています。4月・5月は「希望」節です。新たな仲間や先生との出会いを大切に、新しい学年で始まる学習や部活動など学校生活の具体的な目標を立て、自分の役割を理解して仲間への思いやりや規律ある生活をスタートさせましょう。

1 学期始業式に当たり、皆さんに2つお話をします。

1 つめは学校教育目標についてです。本校の教育目標は、「いのちを大切にし 絆を深め 学び続ける生徒」です。「いのち」とは、世界の良心、安達峰一郎博士のふるさであるこの山辺町で、平和を愛し、自分や仲間の生き方を大切に、たくましく生き抜くことを意味します。「絆」とは、ボランティアや学校行事などの活動を通して地域や仲間との絆を深め、思いやりの気持ちや困難に負けない豊かな心を持つことを意味します。「学び」とは、読書を愛し、人の話に耳を傾け、大人になっても学び続ける学習の基礎をこの中学時代に身につけることを意味します。この「いのち」「絆」「学び」の3つのことばをキーワードに3年生をリーダーとして、2年生、そして、今日入学する新入生と力を合わせ、8年目を迎えるこの校舎で新たな本校の伝統を築き上げてください。そして、この教育目標に近づく中学生になるように自分を鍛えましょう。

2 つめは「レジリエンス」という言葉についてです。学校はもちろん社会全体がコロナ禍での生活で様々な影響を受ける中、レジリエンスという言葉が注目されました。2020年11月、宇宙飛行士野口聡一さんが搭乗した宇宙船にも、新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界が元に戻るための力になりたいという思いを込めてこの名前が付けられました。レジリエンスとは、元に戻る力、回復する力、困難や脅威に直面してもうまく適応し成長する力という意味です。これまでの研究で、大きな災害や事故にあったりつらい経験をしたりしても、その後たくましく生き続ける人がたくさんいるという研究結果が出ており、コロナ禍でその必要性が再認識されました。このレジリエンスは生まれつきの才能ではありません。仲間や自分の命を大切に、絆を深める。将来の夢や目標をもち学び続ける。このような生活を続けるとレジリエンスが高まると言われています。気がついた人もいかもしれませんが命を大切にする、絆を深める、学び続ける。まさしく、今話をした本校の教育目標「命」「絆」「学び」につながります。皆さんのレジリエンスを高めるには本校の教育目標に近づくように生活することです。これからは、社会全体が協力して生きていくことがますます大切な世の中になります。楽しいことだけでなくつらい経験をすることもあるかもしれません。その時は落ち込むだけでなくレジリエンスを高め自分の人生を豊かなものにしましょう。このことについては3月の卒業式でも話しましたが、ぜひ皆さんにも伝えたかったのでここでも話をしました。

新型コロナウイルス感染症は、なかなかおさまらず再拡大も心配されています。感染状況により今後、学校行事や授業内容の変更などが予測されます。先の見えない状況ですが、今年1年の自分の目標をしっかりと立て、目標達成に向けて努力してほしいと思います。朝の検温、マスク着用、手洗いなど私たちができる感染予防対策を確実に実行しましょう。(始業式校長あいさつより 一部省略)

114名の新入生を迎えました

新型コロナウイルス感染症対策のため、在校生の参加は今年も見送り、新入生とその保護者の方々、来賓3名での入学式を挙げていただきました。堂々とした代表あいさつは新入生114名のこれからの学校生活を後押しすることでしょう。

新入生代表

さわやかな春風に吹かれて、今日、私たちは新たな一歩を踏み出しました。制服を着て、中学校生活の始まりに身が引き締まる思いです。

先日、私たちは小学校を卒業しました。小学校では、思いやりの心、何事にも全力で取り組む力、そして周りの人のために頑張ることを学びました。これらをいかして、いろいろなことに取り組んでいきたいです。

学習面では、仲間とともに協力し、小学校での自分よりもさらに力を伸ばしていきたいです。小学校では、自学で授業のポイントをまとめたり、復習を頑張ったりしました。中学校でのテストは、小学校よりもテスト範囲が広く、難しいものだと聞きました。ですから、自分の目標を立て、復習だけではなく、予習にも力を入れて、それに向かって全力で頑張っていきたいです。

また、中学校からは、部活動も始まります。私は、体を動かすこと、歌を歌うこと、どれも興味があります。ですから、たくさんある部活動の中から選べるのがとても楽しみです。先輩方を見習ってどんどんチャレンジしていきたいです。

今日から始まる中学校生活は、楽しみでもあり、不安でもあります。コロナ禍のこの状況ではありますが、何事にも前向きに挑戦していきたいと思います。今日のこの思いを忘れることなく、新たな仲間とともに充実した中学校生活を送っていきたいです。そして、先輩方が築き上げてきた山辺中学校の伝統をさらに発展させられるように努力していきます。

先生方、先輩方、どうぞよろしく願いいたします。



新任者の紹介

- ◇ 秋葉 由紀 教頭:山形四中より(技・家)
- ◇ 高橋 政吉 初任研担当(理科)
- ◇ 檜岡 美保 養護教諭:天童一中より
- ◇ 新関祐一郎 生徒指導主事:天童二中より(国語)
- ◇ 高橋 美穂 やまばと担任:山形二中より(英語)
- ◇ 朝田 貴宏 1年1組担任:山形五中より(社会)
- ◇ 三浦 千華 3年4組担任:上山南中より(理科)
- ◇ 馳尾幸太郎 2学年付き:新採(美術)
- ◇ 山口 陽也 1年3組担任:新採(数学)

今年のPTA総会は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、昨年に引き続き紙上開催となりました。

今年もウイズコロナの中ですが、昨年以上にできることを検討しながら学校教育活動、PTA活動に力を注いでいきたいと思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。

